

機器接続マニュアル



機器接続マニュアルに関する注意事項

本書を正しくご使用いただくために、ご使用前に必ず「マニュアルPDFをダウンロードする前に」をお読みいただき、「はじめに(商標権などについて、対応機種一覧、マニュアルの読み方、表記のルール)」マニュアルをダウンロードしてください。ダウンロードされたマニュアルは、必ずご利用になる場所のお手元に保管し、いつでもご覧いただけるようにしておいてください。

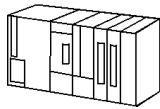
2.18 (株)キーエンス製 PLC

2.18.1 システム構成

(株)キーエンス製 PLC と GP/GLC を接続する場合のシステム構成を示します。

< 結線図 > は 2.18.2 結線図をご参照ください。

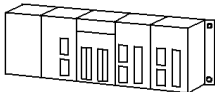
■ KZ-300 シリーズ (リンク I/F 使用)

CPU	リンク I/F	結線図	GP/GLC
	パソコンリンク ユニット 		
KZ-300 KZ-350	KZ-L2	RS-232C (ポート1接続) < 結線図1 >	GPシリーズ GLCシリーズ
		RS-232C (ポート2接続) < 結線図2 >	
		RS-422 (ポート2接続) < 結線図3 >	



- ・ ポート 1、ポート 2 に GP を同時接続できます。
同時接続の場合、ポート 1 とポート 2 の通信設定は同じになります。

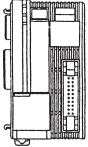
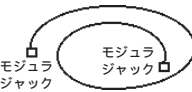
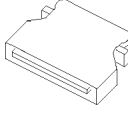
■ KZ-A500 (リンク I/F 使用)

CPU	リンク I/F	結線図	GP/GLC
			
KZ-A500	KZ-L10	RS-232C (ポート1接続) < 結線図4 >	GPシリーズ GLCシリーズ
		RS-232C (ポート2接続) < 結線図2 >	
		RS-422 (ポート2接続) < 結線図3 >	

重要

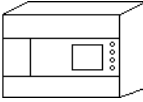
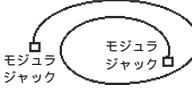
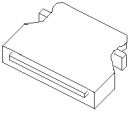
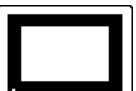
- ・ ポート 1 (RS-232C) とポート 2 (RS-232C もしくは RS-422) 及び CPU ユニット上のモジュラーコネクタを同時に使用して通信することもできます。

■ KZ-A500(CPU 直結)

CPU	ケーブル	コネクタ	GP/GLC
			
KZ-A500	使用可能ケーブル (株)キーエンス製 OP-26487	(株)キーエンス製 OP-26485 *1	GPシリーズ GLCシリーズ

*1 GP2300、GP2301、GLC2300シリーズと接続する場合、コネクタカバーのサイズ上GPに直接接続することはできません。(株)デジタル製延長ケーブルCA1-EXCBL/D25-01をご使用ください。

■ KV シリーズ(CPU 直結)

CPU	ケーブル	コネクタ	GP/GLC
			
KV-10A□, KV-10D□*1 KV-16A□, KV-16D□ KV-24A□, KV-24D□ KV-40A□, KV-40D□	(株)キーエンス製 OP-26487	(株)キーエンス製 OP-26485 *2	GPシリーズ GLCシリーズ

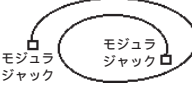
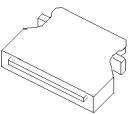
*1 □は、P L C の仕様によって異なります。

*2 GP2300、GP2301、GLC2300シリーズと接続する場合、コネクタカバーのサイズ上GPに直接接続することはできません。(株)デジタル製延長ケーブルCA1-EXCBL/D25-01をご使用ください。

■ KV-700 シリーズ (リンク I/F 使用)

CPU	リンク I/F	結線図	GP/GLC
	パソコンリンク ユニット 		
KV-700	KV-L20	RS-232C(通信ポート1) < 結線図5 > RS-232C(通信ポート2) < 結線図6 > RS-422(通信ポート2) < 結線図7 >	GPシリーズ GLCシリーズ

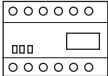
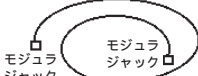
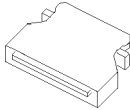
■ KV-700 シリーズ (CPU 直結)

CPU	ケーブル	コネクタ	GP/GLC
			
KV-700	(株)キーエンス製 OP-26487	(株)キーエンス製 OP-26485 *1	GPシリーズ *2 GLCシリーズ

*1 GP2300、GP2301、GLC2300シリーズと接続する場合、コネクタカバーのサイズ上GPに直接接続することはできません。(株)デジタル製延長ケーブルCA1-EXCBL/D25-01をご使用ください。

*2 GP377 シリーズを除く GP70 シリーズは、使用できません。

■ KZ シリーズ (CPU 直結)

CPU	ケーブル	コネクタ	GP/GLC
			
KZ-10R, KZ-10T KZ-16R, KZ-16T KZ-24R, KZ-24T KZ-40R, KZ-40T KZ-80R, KZ-80T	(株)キーエンス製 0P-26487	(株)キーエンス製 0P-26485 ¹	GPシリーズ ² GLCシリーズ

*1 GP2300、GP2301、GLC2300シリーズと接続する場合、コネクタカバーのサイズ上GPに直接接続することはできません。(株)デジタル製延長ケーブルCA1-EXCBL/D25-01をご使用ください。

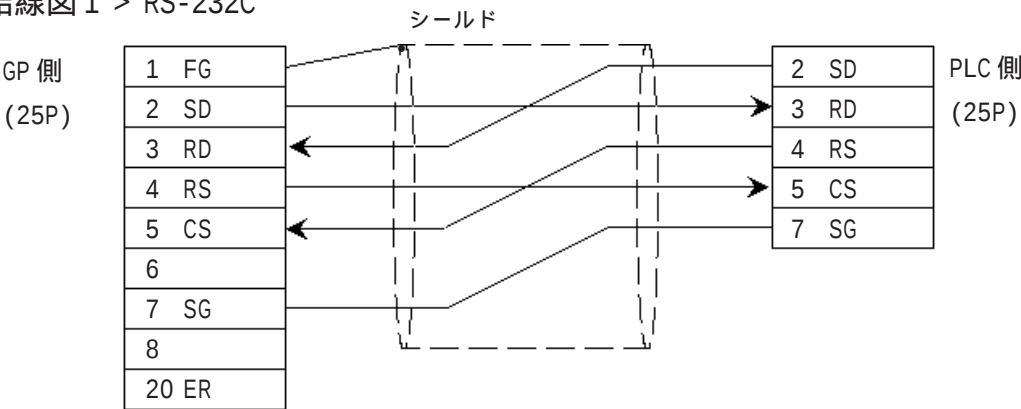
*2 GP377シリーズを除く GP70シリーズ、および GLC100 は使用できません。

2.18.2 結線図

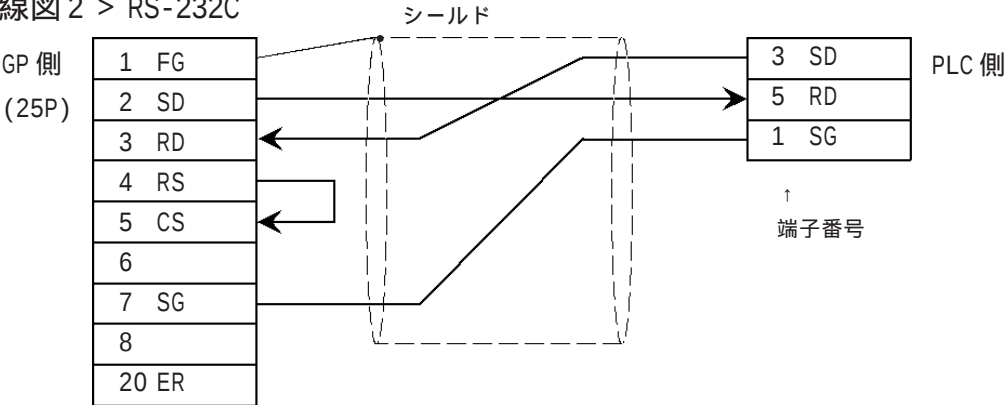
以下に示す結線図と(株)キーエンスの推奨する結線図が異なる場合がありますが、以下に示す結線図でも動作上問題はありません。

- 強制**
- ・ シールド線へのFGの接続は、GP側を接続してください。
 - ・ RS-232C接続の場合は、ケーブル長は15m以内にしてください。
 - ・ 通信ケーブルを結線する場合は、必ずSGを接続してください。
 - ・ RS-422接続の場合、ケーブル長は(株)キーエンスのマニュアルを参照してください。

< 結線図 1 > RS-232C



< 結線図 2 > RS-232C



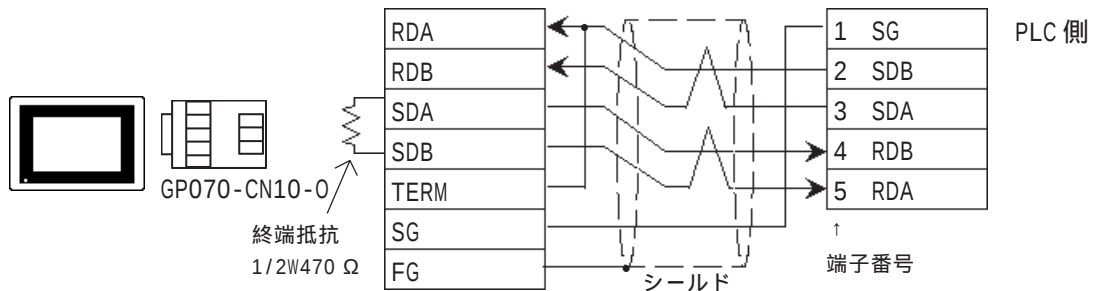
< 結線図 3 > RS-422

- 強制**
- ・ PLC側の終端抵抗スイッチをONにしてください。
 - ・ PLC側の TERMINATOR をONにしてください。(KZ-A500の場合)

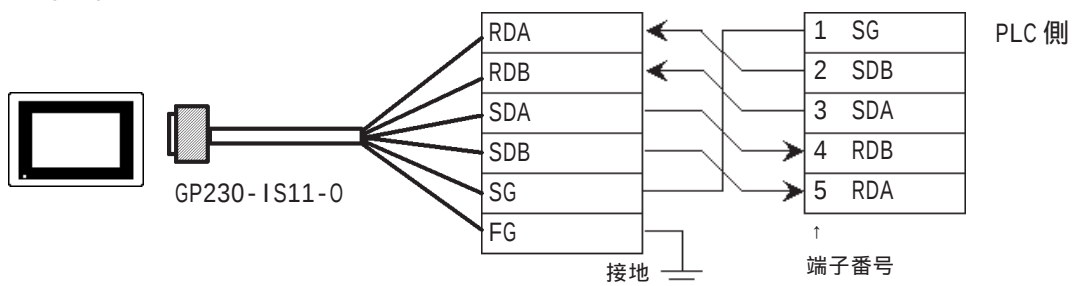


- ・ GPとPLCとでは、A極とB極の呼称が逆になっていますのでご注意ください。

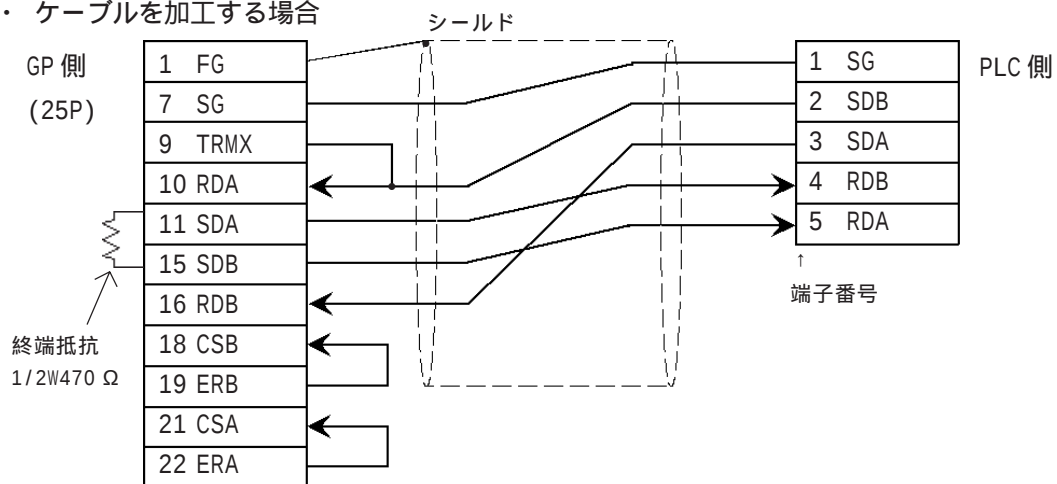
- ・ (株)デジタル製 RS-422 コネクタ端子台変換アダプタ GP070-CN10-0 を使用する場合



- ・ (株)デジタル製 RS-422 ケーブル GP230-IS11-0 を使用する場合



- ・ ケーブルを加工する場合

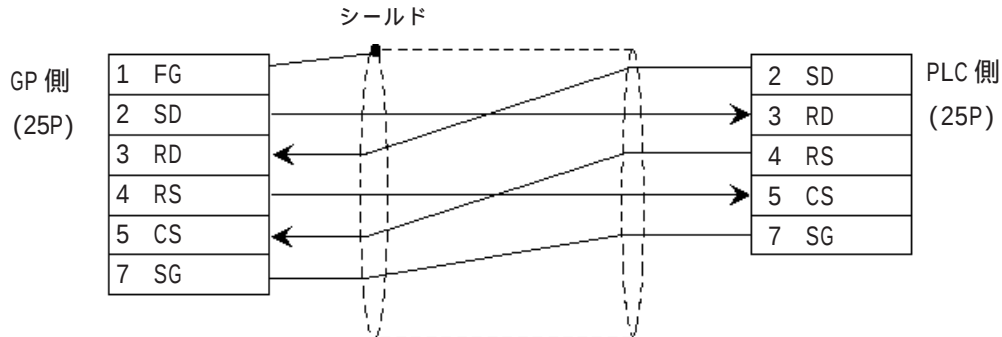


- ・ 接続ケーブルとして平河ヒューテック(株)製H-9293A(C0-HC-ESV-3P*7/0.2)を推奨します。
- ・ GP側シリアルI/Fの9番ピンと10番ピンを接続することにより、RDA-RDB間に100Ωの終端抵抗が挿入されます。
- ・ RS-422接続の場合、ケーブル長は(株)キーエンスのマニュアルを参照してください。

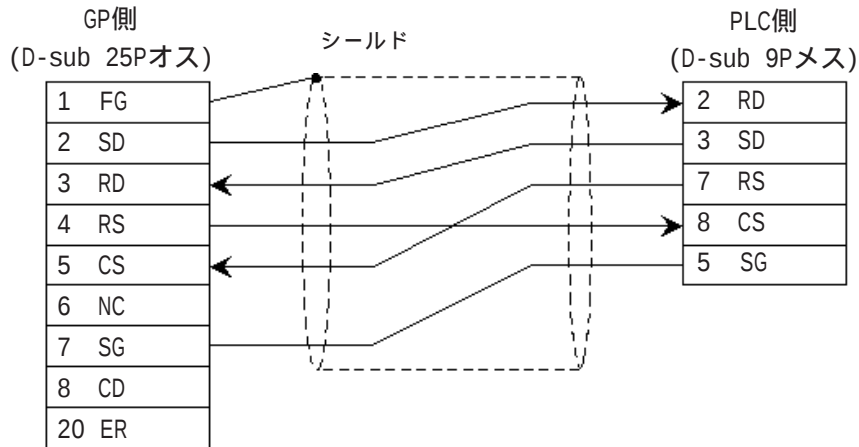
< 結線図 4 > RS-232C (ポート 1)



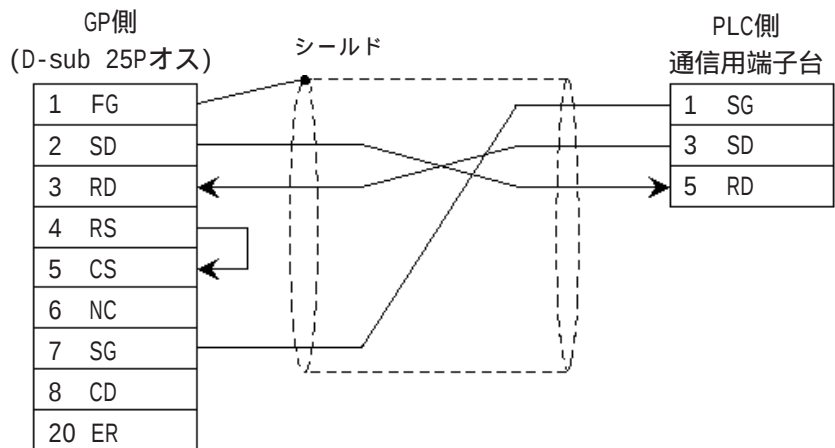
- ・ RS-232C接続の場合は、ケーブル長は15m以下にしてください。
- ・ RS-422接続の場合は、ケーブル長は500m以下にしてください。



< 結線図 5 > RS-232C ケーブル (ポート 1)



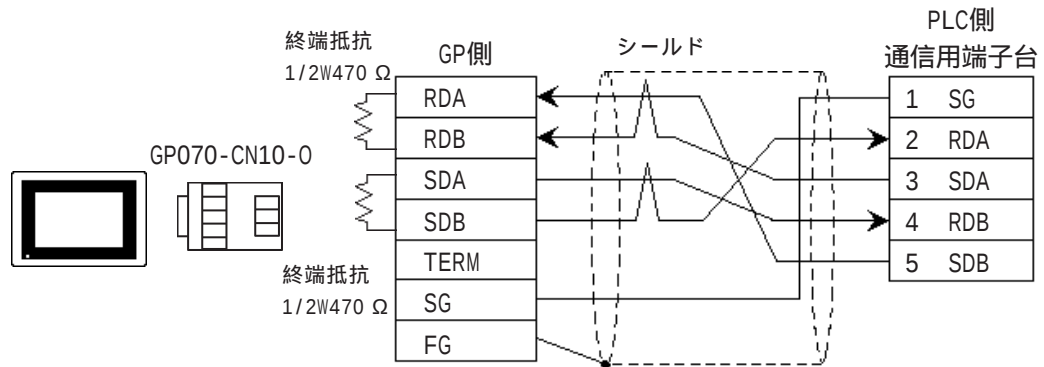
< 結線図 6 > RS-232C ケーブル (ポート 2)



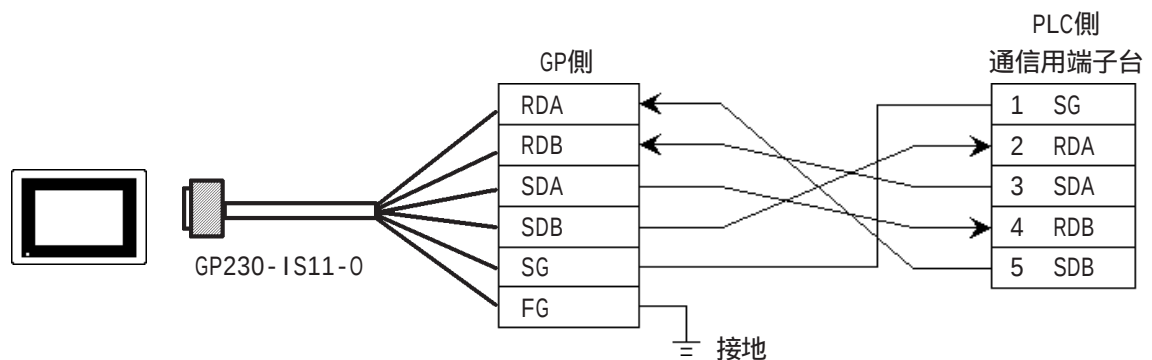
< 結線図 7 > RS-422 ケーブル (4 線式)

- 強制**
- ・ PLC側の終端抵抗はユニット上の「ターミネータ選択スイッチ」をONにすることによって設定されます。
 - ・ GPとPLCとではA極とB極の呼称が逆になっていますのでご注意ください。
 - ・ ケーブル長は500m以内にしてください。

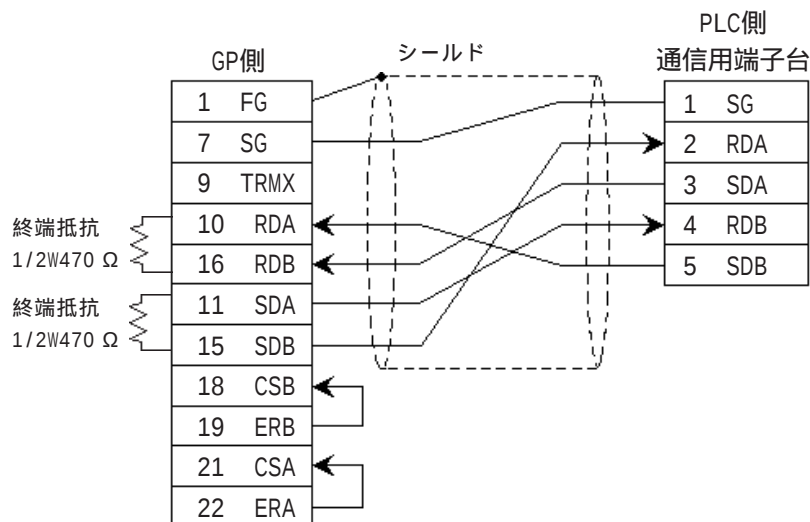
- ・ (株)デジタル製 RS-422 コネクタ端子台変換アダプタ GP070-CN10-0 を使用する場合



- ・ (株)デジタル製 RS-422 ケーブル GP230-IS11-0 を使用する場合



- ・ ケーブルを加工する場合



2.18.3 使用可能デバイス

GPでサポートしているデバイスの範囲を示します。

■ KZ-300/KZ-350 シリーズ

 は、システムエリアに指定可能

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	備考
入力リレー	00000 ~ 0009	00 ~ 00	
	7000 ~ 17415	70 ~ 174	*1
出力リレー	0500 ~ 0503	05 ~ 05	
	7500 ~ 17915	75 ~ 179	*2
補助リレー	0504 ~ 0915	_____	
内部補助リレー	1000 ~ 6915	10 ~ 69	
特殊補助リレー	2000 ~ 2915	20 ~ 29	
タイマ（接点）	T000 ~ T249	_____	
カウンタ（接点）	C000 ~ C249	_____	
タイマ（現在値）	_____	T000 ~ T249	
カウンタ（現在値）	_____	C000 ~ C249	
データメモリ	_____	DM0000 ~ DM9999	Bit 15
テンポラリ データメモリ	_____	TM00 ~ TM31	Bit 15

L/H

*1 表に示した範囲で、ビットアドレスは*000 ~ *400 番台、ワードアドレスは*0 ~ *4が使用可能です。

ビットアドレス
7000番台
7100番台 ~ 7400番台
8000番台
8100番台 ~ 8400番台
17000番台 ~ 17400番台

ワードアドレス
70
71 ~ 74
80
81 ~ 84
170 ~ 174

*2 表に示した範囲で、ビットアドレスは*500 ~ *900 番台、ワードアドレスは*5 ~ *9が使用可能です。

ビットアドレス
7500番台
7600番台 ~ 7900番台
8500番台
8600番台 ~ 8900番台
17500番台 ~ 17900番台

ワードアドレス
75
76 ~ 79
85
86 ~ 89
175 ~ 179

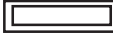
■ KZ-A500(CPU 直結)



は、システムエリアに指定可能

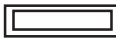
デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	備考	
入力リレー	X0000 ~ X07FF	X0000 ~ X07F0	***0	L/H
出力リレー	Y0000 ~ Y07FF	Y0000 ~ Y07F0	***0	
内部リレー	M0000 ~ M8191	M0000 ~ M8176	÷16	
保持リレー	L0000 ~ L8191	—————		
特殊リレー	M9000 ~ M9255	M9000 ~ M9240	÷16	
アナンシェータ	F0000 ~ F2047	F0000 ~ F2032	÷16	
リンクリレー	B0000 ~ B0FFF	—————		
タイマ (接点)	TS0000 ~ TS2047	—————		
タイマ (コイル)	TC0000 ~ TC2047	—————		
カウンタ (接点)	CS0000 ~ CS1023	—————		
カウンタ (コイル)	CC0000 ~ CC1023	—————		
タイマ (現在値)	—————	TN0000 ~ TN2047		
カウンタ (現在値)	—————	CN0000 ~ CN1023		
データレジスタ	—————	D0000 ~ D6143	Bit15	
特殊レジスタ	—————	D9000 ~ D9255	Bit15	
リンクレジスタ	—————	W0000 ~ W0FFF	BitF	
ファイルレジスタ	—————	R0000 ~ R8191	Bit15	

■ KZ-A500(リンク I/F 使用)

 は、システムエリアに指定可能

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	備考	
入力リレー	X0000 ~ X07FF	X0000 ~ X07F0	 0	L/H
出力リレー	Y0000 ~ Y07FF	Y0000 ~ Y07F0	 0	
内部リレー	M0000 ~ M8191	M0000 ~ M8176	 16	
ラッチリレー	L0000 ~ L8191	L0000 ~ L8176	 16	
リンクリレー	B0000 ~ B0FFF	—————		
アナンシェータリレー	F0000 ~ F2047	F0000 ~ F2032	 16	
特殊リレー	M9000 ~ M9255	M9000 ~ M9240	 16	
タイマ(接点)	TS0000 ~ TS2047	—————		
タイマ(コイル)	TC0000 ~ TC2047	—————		
カウンタ(接点)	CS0000 ~ CS1023	—————		
カウンタ(コイル)	CC0000 ~ CC1023	—————		
タイマ(現在値)	—————	TN0000 ~ TN2047		
カウンタ(現在値)	—————	CN0000 ~ CN1023		
データレジスタ	—————	D0000 ~ D6143	 15	
リンクレジスタ	—————	W0000 ~ W0FFF	 F	
ファイルレジスタ	—————	R0000 ~ R8191	 15	
特殊レジスタ	—————	D9000 ~ D9255	 15	

■ KV シリーズ (KV-10/KV-16/KV-24/KV-40)

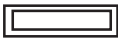
 は、システムエリアに指定可能

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	備考	
入出力リレー	00000 ~ 00915	000 ~ 009		L/H
	07000 ~ 17915	070 ~ 179		
内部補助リレー	01000 ~ 01915	010 ~ 019		
	03000 ~ 06915	030 ~ 069		
特殊補助リレー	02000 ~ 02915	020 ~ 029	*1	
タイマ (接点)	T000 ~ T249	—————		
カウンタ (接点)	C000 ~ C249	—————		
高速カウンタコンパレータ (接点)	CTC0 ~ CTC3	—————	*2	
タイマ (設定値)	—————	TS000 ~ TS249		
カウンタ (設定値)	—————	CS000 ~ CS249		
タイマ (現在値)	—————	TC000 ~ TC249		
カウンタ (現在値)	—————	CC000 ~ CC249		
データメモリ	—————	DM0000 ~ DM1999	 15	
テンポラリデータメモリ	—————	TM00 ~ TM31	 15	
デジタルトリマ	—————	AT0 ~ AT1	*2	
高速カウンタ (現在値)	—————	CTH0 ~ CTH1		
高速カウンタコンパレータ (設定値)	—————	CTC0 ~ CTC3		

*1 一部のアドレスは書き込み不可

*2 書き込み不可

■ KV-700 シリーズ (KZ-300 シリーズプロトコルを使用した場合)

 は、システムエリアに指定可能

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	備考
入力リレー	00000 ~ 00009	000 ~ 000	*1
出力リレー	00500 ~ 000503	005 ~ 005	
内部補助リレー	000504 ~ 00915	005 ~ 009	
拡張入出力リレー 内部補助リレー	01000 ~ 59915	010 ~ 599	
コントロールリレー	60000 ~ 63915	600 ~ 639	*2
タイマ (接点)	T000 ~ T511	—————	*3
カウンタ (接点)	C000 ~ C511	—————	*3
タイマ (現在値)	—————	T000 ~ T511	*3
カウンタ (現在値)	—————	C000 ~ C511	*3
データメモリ	—————	DM0000 ~ DM9999	 15 *4
テンポラリデータメモリ	—————	TM000 ~ TM511	 15
コントロールメモリ	—————	TM0520 ~ TM4519	 15 *5

*1 PLC、GP ともにデバイスへの書き込み不可

*2 GPからのアドレスへの書き込み不可

*3 ラダープログラムにタイマ命令、カウンタ命令が存在する場合のみ使用可

*4 PLCのデバイス範囲はDM0000 ~ DM19999までですが、GPでは、DM9999までしかアクセスできません。

*5 一部アドレス書き込み不可

■ KV-700 シリーズ (KZ-A500(LINK) プロトコルを使用した場合)

 は、システムエリアに指定可能

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	備考
入力リレー	X000 ~ X009	X00 ~ X00	 *1*2
出力リレー	X050 ~ X053	X05 ~ X05	 *2
内部補助リレー	X054 ~ X09F	X05 ~ X09	 *2
コントロールリレー	M0000 ~ M3915	M0000 ~ M3904	 *3*4
タイマ (接点)	TS000 ~ TS511	—————	*5
カウンタ (接点)	CS000 ~ CS511	—————	*5
高速カウンタコンパレータ (接点)	CS512 ~ CS515	—————	*5*6
タイマ (現在値)	—————	TN000 ~ TN511	*5
カウンタ (現在値)	—————	CN000 ~ CN511	*5
高速カウンタ (現在値)	—————	CN512 ~ CN513	*5
データメモリ	—————	D00000 ~ D19999	 *7
コントロールメモリ	—————	D50000 ~ D53999	 *3

*1 PLC、GP ともにデバイスへの書き込み不可

*2 アドレスは16進数で指定

*3 一部アドレス書き込み不可

*4 アドレスは16の倍数のみ指定可

*5 ラダープログラムにタイマ命令、カウンタ命令、高速タイマ命令が存在する場合のみ使用可

*6 GPからのアドレスへの書き込み不可

*7 ファイルレジスタR50000 ~ R539999として指定しても同様のデバイスアドレスを使用できます。
例えば R51111 = D51111 となります。

■ KV-700 シリーズ (CPU 直結)

 は、システムエリアに指定可能

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	備考
入出力リレー	00000 ~ 59915	000 ~ 599	
内部補助リレー			
コントロールリレー	CR0000 ~ CR3915	CR00 ~ CR39	
タイマ (接点)	T000 ~ T511	—————	
カウンタ (接点)	C000 ~ C511	—————	
高速カウンタコンパレータ (接点)	CTC0 ~ CTC3	—————	*1
タイマ (設定値)	—————	TS000 ~ TS511	*2
カウンタ (設定値)	—————	CS000 ~ CS511	*2
タイマ (現在値)	—————	TC000 ~ TC511	*2
カウンタ (現在値)	—————	CC000 ~ CC511	*2
データメモリ	—————	DM00000 ~ DM39999	 15
テンポラリデータメモリ	—————	TM000 ~ TM511	 15
コントロールメモリ	—————	CM0000 ~ CM3999	 15
デジタルトリマ	—————	TRM0 ~ TRM7	*2
高速カウンタ (現在値)	—————	CTH0 ~ CTH1	*2
高速カウンタコンパレータ (設定値)	—————	CTC0 ~ CTC3	*2

L/H

*1 書き込み不可

*2 32ビットデバイス

■ KZ シリーズ (KZ-10/KZ-16/KZ-24/KZ-40/KZ-80)

 は、システムエリアに指定可能

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	備考	
入出力リレー	00000 ~ 00915			L/H
内部補助リレー	01000 ~ 01915	_____	*1	
	03000 ~ 06915			
特殊補助リレー	02000 ~ 02915	_____	*1	
タイマ (接点)	T000 ~ T119	_____		
カウンタ (接点)	C000 ~ C119	_____		
高速カウンタコンパレータ (接点)	CTC0 ~ CTC3	_____	*2	
タイマ (設定値)	_____	TS000 ~ TS119		
カウンタ (設定値)	_____	CS000 ~ CS119		
タイマ (現在値)	_____	TC000 ~ TC119		
カウンタ (現在値)	_____	CC000 ~ CC119		
データメモリ	_____	DM0000 ~ DM1999		
テンポラリデータメモリ	_____	TM00 ~ TM31		
アナログタイマ	_____	AT0 ~ AT1	*2	
高速カウンタ (現在値)	_____	CTH0 ~ CTH1		
高速カウンタコンパレータ (設定値)	_____	CTC0 ~ CTC3		

*1 一部アドレスは書き込み不可

*2 書き込み不可



各デバイスの範囲は接続するPLCによって異なります。ご使用になる前にPLCのマニュアルでご確認ください。

2.18.4 環境設定例

(株)デジタルが推奨するPLC側の通信設定と、それに対応するGP側の通信設定を示します。

■ KZ-300/350 シリーズ

GPの設定		パソコンリンクユニットの設定	
伝送速度	19200bps	伝送速度	19200bps
データ長	7bit	データ長	7bit
ストップビット	2bit	ストップビット	2bit
パリティビット	偶数	パリティビット	偶数
制御方式	ER制御		
通信方式 (RS-232C使用時)	RS-232C	ポート2切り替えスイッチ (RS-232C使用時) ^{*1}	RS-232C
通信方式 (RS-422使用時)	4線式	ポート2切り替えスイッチ (RS-422使用時) ^{*1}	RS-422A
		運転モード	リンクモード
号機No.	0	局番号	0

*1 ポート1使用時は、設定の必要はありません。

■ KZ-A500(CPU 直結)

GPの設定		PLC側の設定
伝送速度	9600bps	
データ長	8bit (固定)	
ストップビット	1bit (固定)	
パリティビット	奇数 (固定)	
制御方式	ER制御	
通信方式 (RS-232C使用時)	RS-232C	
号機No.	0 (固定)	



注 意 ・ PLCプログラムのサイクルタイムに与える影響

CPU 直結の場合、GP との通信が始まると、PLC プログラムのサイクルタイムが約8%程遅くなります。ご確認の上ご使用ください。

■ KZ-A500(リンク I/F 使用)

GPの設定		PLC側の設定	
通信速度	19200bps *1	ボーレート	19200bps
データ長	7bit	データ長	7bit
ストップビット	1bit	ストップ	1bit
パリティビット	無	パリティビット	無
制御方式	ER制御	_____	_____
通信方式 (RS-232C使用時)	RS-232C	RS-232C通信ポート	ポート1またはポート2 *2
通信方式 (RS-422使用時)	4線式	RS-422通信ポート	ポート2 *3
_____		通信の種類	ノーマル通信
_____		RUN中デバイスデータ書換	許可
_____		チェックサム	有
_____		動作モード	プロトコルモード4
号機No.	0	STATION No.	0

*1 通信速度は、最高 38400bpsまで使用することができます。

*2 ポート2でRS-232C通信をおこなう場合は、INTERFACEのスイッチを「232C」の設定(右側)にしにしてください。また、TERMINATORは必要ありませんのでスイッチをOFFに設定しておいてください。

*3 RS-422通信をおこなう場合は、INTERFACEのスイッチを「422」の設定(左側)にしてください。また、TERMINATORのスイッチをONに設定してください。

■ KV/KV-700 シリーズ (CPU 直結)

GPの設定		PLC側の設定	
通信速度	19200bps	_____	_____
データ長	8bit (固定)	_____	_____
ストップビット	1bit (固定)	_____	_____
パリティビット	偶数 (固定)	_____	_____
制御方式	ER制御	_____	_____
通信方式	RS-232C	_____	_____
号機No.	0	_____	_____



- ・ 通信速度は、9600 ~ 57600bps まで設定できます。
- ・ PLC側は自動認識となっているため設定は必要ありません。

■ KZ-700 シリーズ(KZ-300 シリーズプロトコルを使用した場合)

GPの設定		PLC側の設定	
通信速度	19200bps *1	ボーレート	19200bps
データ長	7bit	データ長	7bit
ストップビット	2bit	ストップ	2bit
パリティビット	偶数	パリティビット	偶数
制御方式	ER制御	RS,CSフロー制御	しない
通信方式 (RS-232C使用時)	RS-232C	通信ポート1	232C固定
		通信ポート2 切替スイッチ	232C
通信方式 (RS-422使用時)	4線式	通信ポート2 切替スイッチ	422A
		動作モード	リンクモード
号機No.	0	局番	0

*1 通信速度は最高 115,200bps まで設定可能です。

■ KZ-700 シリーズ(KZ-A500 シリーズプロトコルを使用した場合)

GPの設定		PLC側の設定	
通信速度	19200bps *1	ボーレート	19200bps
データ長	7bit	データ長	7bit
ストップビット	1bit	ストップ	1bit
パリティビット	無	パリティビット	無
制御方式	ER制御		
通信方式 (RS-232C使用時)	RS-232C	通信ポート1	232C固定
		通信ポート2 切替スイッチ	232C
通信方式 (RS-422使用時)	4 線式	通信ポート2 切替スイッチ	422A
		動作モード	プロトコルモード4
		チェックサム	あり
号機No.	0	局番	0

*1 通信速度は最高 115,200bps まで設定可能です。

■ KZ シリーズ (CPU 直結)

GPの設定		PLC側の設定	
通信速度	19200bps	_____	_____
データ長	8bits (固定)	_____	_____
ストップビット	1bit (固定)	_____	_____
パリティビット	偶数 (固定)	_____	_____
制御方式	ER制御	_____	_____
通信方式	RS-232C	_____	_____
号機No.	0 (固定)	_____	_____

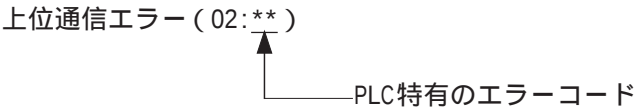


- ・ 通信速度は、9600 ~ 38400bps まで設定できます。
- ・ PLC側は自動認識となっているため設定は必要ありません。

2.18.5 エラーコード

■ PLC 特有のエラーコード

PLC のエラーコードは GP の画面左下に「上位通信エラー (02:**)」のように表示されます。
(** は PLC 特有のエラーコード)



KV/KV-700 シリーズ (CPU 直結)

PLC 特有のエラーコード

エラーコード	内容
02	書き込み不可のデバイスに書き込みを行った場合 (高速カウンタコンパレータ(接点))
04	PLCがサポートしていない通信ボーレートで通信した場合
31	PLCでデバイス定義をしていないデバイスにアクセスした場合 ^{*1}

^{*1} タイマ(接点 / 現在値 / 設定値)、カウンタ(接点 / 現在値 / 設定値)、高速カウンタ、高速カウンタコンパレータ(設定値)に書き込みを行う場合は、あらかじめラダープログラムでの設定が必要です。

KZ シリーズ (CPU 直結)

PLC 特有のエラーコード

エラーコード	内容
02	PLCにラダープログラムが登録されていない場合
04	デバイス定義がされていないデバイスにアクセスした場合
13	ライトプロテクトされたプログラムに対してカウンタ、タイマ、高速カウンタコンパレータの設定値を変更しようとした場合